

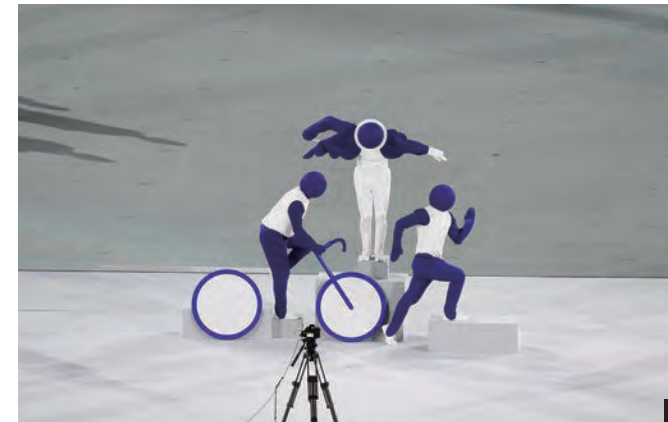


東京2020オリンピック・パラリンピック開幕

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により1年延期となった東京2020大会が、感染症対策による大幅な運営変更をしながら、2021年7月23日に開幕した。

東京2020オリンピック開幕の日、ブルーインパルスが5色のスモークを使いながら選手村上空を飛行
Photo by Tokyo 2020 / Shugo TAKEMI

CHUO CITY
Olympic and Paralympic Games Tokyo 2020



東京2020オリンピック開会式

2021年7月23日、オリンピックスタジアムで205の国・地域と難民選手団から約6,000人の選手が参加し、開会式が開催された。無観客開催となったが、多様性と調和をテーマに、日本文化を表現した演目の披露や、日本のゲーム音楽に乗った各国選手団の入場、水素燃料を使用した聖火台への点火などが行われた。オリンピック旗の運び役であるエッセンシャルワーカーの1人として、本区中央清掃事務所職員も参加した。

1日本選手団の入場 2聖火リレー最終走者の大坂なおみ選手(テニス)による聖火台への点火 34開会式で披露されたパフォーマンス 5ピクトグラムのパフォーマンス 6火の灯された聖火台 7選手たちの前で打ち上げられた花火
Photo by Tokyo 2020 / Ken Ishii 1 2 5 6 7、Tokyo 2020 / Shugo TAKEMI 3 4



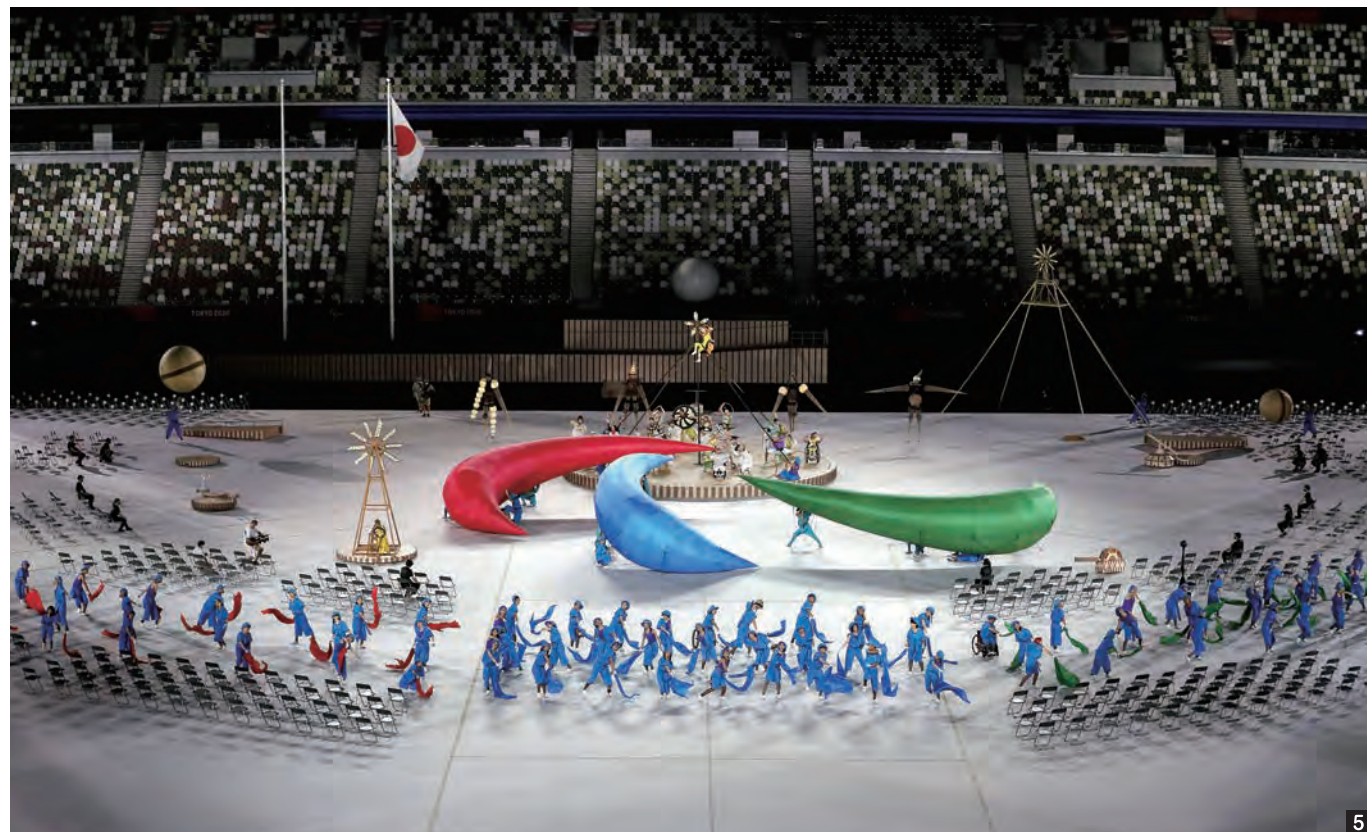
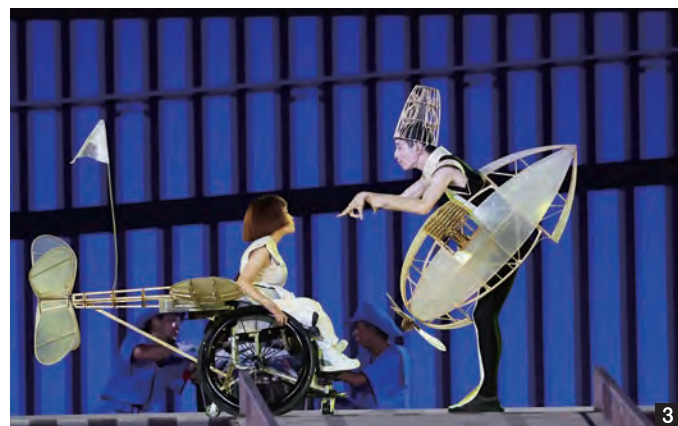
東京2020オリンピック競技

33競技339種目の熱戦が、全42会場で繰り広げられた。
新型コロナウイルス感染症が拡大する困難な中でも、日々のたゆまぬ努力を続けてきたアスリートたちが、
全力を尽くして試合に臨む姿に世界中が感動した。

1 2 7人制ラグビー（中央小学校を練習会場として使用） 3 卓球（水谷隼選手・伊藤美誠選手らのサイン入りTシャツが区に贈呈） 4 3x3 バスケットボール（総合スポーツセンターを練習会場として使用） 5 新体操 6 サッカー 7 トライアスロン 8 スケートボード女子ストリートの表彰 9 柔道 10 バレーボール（黄色のユニフォームのブラジルチームは豊海小学校体育館で練習）

Photo by Tokyo 2020 / Meg Oliphant 1~4 6~10, Tokyo 2020 / Ken Ishii 5

CHUO CITY
Olympic and Paralympic Games Tokyo 2020



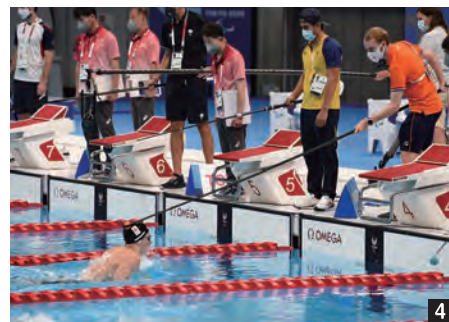
東京2020パラリンピック開会式

2021年8月24日、オリンピックスタジアムで161の国・地域と難民選手団から約3,400人の選手が参加し、開会式が開催された。ステージには、公募により障害がある方も多数出演し、個性を活かしながら困難を乗り越えていく姿や、互いに認め、助け合う共生社会を目指していくストーリーが展開された。

①～⑤架空の飛行場「パラ・エアポート」を舞台に、飛ぶことをあきらめていた「片翼の小さな飛行機」が、エアポートの外の世界でさまざまな乗り物たちに出会い、仲間に支えられて飛び立っていく物語が演じられた。本区オリンピック・パラリンピックに関する講演会講師の義足のダンサー・大前光市氏も出演 ⑥日本選手団の入場。団長は、本区の講演会講師の河合純一氏 ⑦銀座のガス灯から採った「中央区の火」も含め全国から集められた火と英国・ストーク・マンデビルの火を一つに統合した火が、聖火台に点火された。

Photo by Tokyo 2020 / Uta MUKUO①～④⑥⑦、Tokyo 2020 / Shugo TAKEMI⑤

CHUO CITY
Olympic and Paralympic Games Tokyo 2020



東京2020パラリンピック競技

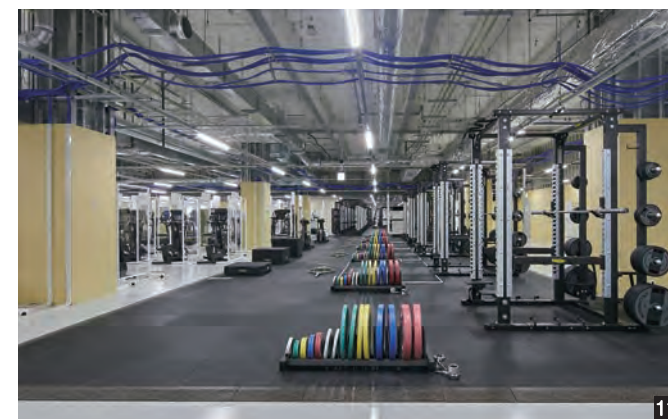
22競技539種目の競技が、21会場で繰り広げられた。

障害を持つアスリートたちが、創意工夫をしながら自らの限界を乗り越え、躍動する姿は、見る人に勇気を与えた。

1車いすテニス (NO LIMITS SPECIAL GINZA & TOKYOに出演した国枝慎吾選手) 2ボッチャ (本区でも人気のパラスポーツ) 3シッティングバレーボール 4水泳 5水泳表彰 (写真左は本区オリンピック・パラリンピックに関する講演会講師の木村敬一選手/男子100mバタフライ金メダル、男子100m平泳ぎ銀メダル) 6陸上競技 75人制サッカー (区民協議会パラスポーツ体験会の実施競技) 8バドミントン

Photo by Tokyo 2020 / Kenta Harada 1 ~ 8

CHUO CITY
Olympic and Paralympic Games Tokyo 2020



世界のアスリートが滞在した選手村

晴海地区の約44haの敷地に、居住棟21棟、ビレッジプラザ、メインダイニングホール、複合施設などが整備され、選手たちが、安全・安心、快適に生活できる環境が提供された。

1選手村全景 2居住棟 3選手たちの居室 4緑道公園 5晴海ふ頭公園 6ビレッジプラザ入口 7村内に掲げられた国旗 8メインダイニングホール 9ビレッジプラザ内のオフィシャルショップ 10カジュアルダイニング、レクリエーションセンター等が入る複合施設 11複合施設内のトレーニング施設 12村内を巡回するシャトルバス 13選手のリラクゼーションハウスの電力に使用された純水素型燃料電池

Photo by Tokyo 2020 / Uta MUKUO 1 2 4 ~ 6 8 10 ~ 13、
Tokyo 2020 / Shugo TAKEMI 3 7 9

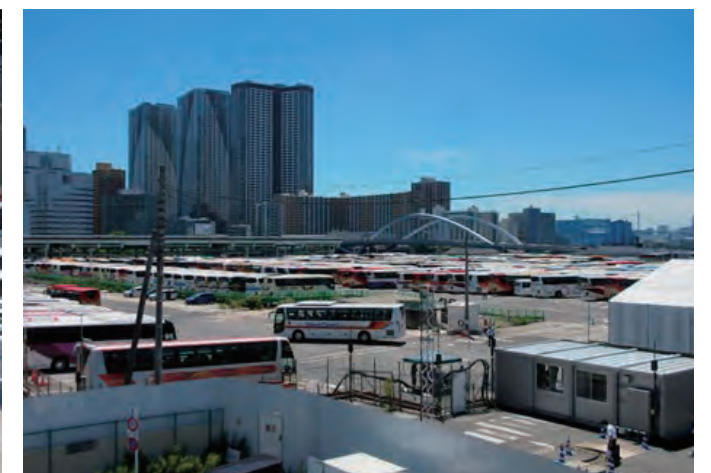
CHUO CITY
Olympic and Paralympic Games Tokyo 2020



多くのバス、フリートの車両が待機しながら24時間稼働した築地デポ 写真提供：株式会社朝日アドテック


大会の円滑な輸送を支えた築地デポ

大会関係車両を収容・管理する車両基地「築地デポ」が築地市場跡地に整備された。駐車場や管理施設、洗車給油設備、点検施設等が配置され、大会期間中は24時間稼働した。車両基地を起点として、選手村や競技会場などの関連施設間が多くの車両で結ばれ、選手・大会関係者の円滑な輸送サービスが提供された。



東京2020大会への軌跡

凡例 (組):組織委員会 (都):東京都 (区):中央区

	大会運営、気運醸成などの動き	まちづくり、交通対策などの動き
平成25年(2013年)	9/8 ● 2020年大会開催都市が東京に決定(56年ぶり2回目の東京開催)(写真1)	 開催都市決定の瞬間(晴海)
	9/8 ● 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会対策本部を設置(区)	9/11 ● 都知事に「2020年東京大会実施に伴う施設建設等に関する要望について」を提出(区)
	9/27 ● 区議会に東京オリンピック・パラリンピック対策特別委員会を設置(区)	
	10/1 ● 企画部にオリンピック・パラリンピック調整担当課を設置(区)	
	11/1 ● 2020オリンピック・パラリンピックを成功させる特別区23人の区長会議を設置(特別区長会)	
平成26年(2014年)	1/1 ● 都がスポーツ振興局をオリンピック・パラリンピック準備局に改組(都)	
	1/24 ● 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会が発足(組)	
	2/7~23 ● ソチ2014冬季オリンピック開催	2/16 ● 晴海地区将来ビジョン検討委員会を設立(区)
	3/7~16 ● ソチ2014冬季パラリンピック開催	3/14 ● 都知事に「2020年東京大会実施に伴う本区への影響等に関する要望について」を提出(区)
	3/19 ● 2020年オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた多言語対応協議会を設立(国、都等)	
	4/ ● オリンピック・パラリンピック教育推進校の取組を開始(都教育委員会)	12/19 ● 「選手村 大会終了後における住宅棟のモデルプラン」を公表(都)
		12/26 ● 都知事に「晴海地区将来ビジョン」を提出(区)
平成27年(2015年)	2/27 ● 東京2020大会開催基本計画を公表(組)	3/10 ● 都知事に「2020年東京大会選手村整備に伴う本区への影響等に関する要望について」を提出(区)
	3/31 ● 「2020年に向けた中央区の取組」を作成(区)	4/5 ● 晴海地区将来ビジョン検討委員会を改組し、晴海地区将来ビジョン推進会議を設立(区)
		4/28 ● 「都心と臨海副都心とを結ぶBRTに関する基本計画」を公表(都)
	7/24 ● 大会公式エンブレムを公表(その後、9月1日に白紙撤回)(組)	7/17 ● 安倍晋三内閣総理大臣が新国立競技場整備計画の白紙撤回を発表

	大会運営、気運醸成などの動き	まちづくり、交通対策などの動き
平成28年(2016年)	7/24 ● 平成27年度第1回オリンピック・パラリンピックに関する講演会を開催。以後、全13回開催(区)	
	10/1 ● スポーツ庁発足(国)	12/22 ● 関係閣僚会議で新国立競技場整備計画の再検討案を選定
	10/10~25 ● 日本橋シテイドレスィング開催(三井不動産株)(写真2)	
	12/17 ● 中央区オリンピック・パラリンピック区民協議会を設立(区)(写真3)	
		
	3/28 ● 中央区オリンピック・パラリンピック区民協議会観光・文化検討部会を設置(区)	3/30 ● 「豊洲・晴海開発整備計画の一部改定について」を公表(都)
	3/31 ● 銀座五丁目にG Infoがオープン(全銀座会)	3/31 ● 「東京2020大会後の選手村におけるまちづくりの整備計画について」を公表(都)
		4/4 ● 「都心と臨海副都心とを結ぶBRTに関する事業計画」を公表(都)
	4/25 ● 大会公式エンブレムが決定(組)	4/20 ● 「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について(答申)」を公表(交通政策審議会)
	5/2 ● 銀座の中央通りで「NO LIMITS SPECIAL GINZA&TOKYO」開催(都)(写真4)	4/22 ● 晴海五丁目西地区第一種市街地再開発事業の着手を公表(都)
		6/30 ● 都知事に「市場移転及び環状第2号線の供用開始に伴う区内交通への影響等にかかる要望について」を提出(区)
	7/25 ● 東京2020アクション&レガシープラン2016策定(組)	7/13 ● 都知事に「東京2020大会選手村整備に伴う本区への影響等に関する要望について」を提出(区)
	8/4 ● IOC総会で東京2020オリンピック追加提案種目(5競技18種目)が決定	
	8/5~21 ● リオデジャネイロ2016オリンピック開催	7/28 ● 晴海五丁目西地区第一種市街地再開発事業の特定建築者予定者を決定(都)
	9/7~18 ● リオデジャネイロ2016パラリンピック開催	8/31 ● 築地市場の豊洲移転延期を表明(都)

東京2020大会への軌跡



凡例 (組):組織委員会 (都):東京都 (区):中央区

	大会運営、気運醸成などの動き	まちづくり、交通対策などの動き
平成28年(2016年)	9/20~10/10 ●日本橋シティドレッシング for TOKYO 2020 を実施(三井不動産株) 10/1 ●「東京2020参画プログラム」の運用を開始(組) 10/7 ●リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック日本代表選手団合同パレードを実施(組織委員会等で構成する実行委員会)(写真5) 10/7 ●福徳の森で「幕開き日本橋 東京2020文化オリンピックアードキックオフ」を開催(都等) 11/19 ●中央区観光情報センターを開設(区) 12/26 ●「beyond2020プログラム」の運用を開始(国)	 12/20 ●都知事に「環状第2号線の一部暫定開通に関する要望について」を提出(区)
	1/26 ●中央区オリンピック・パラリンピック区民協議会ボランティア検討部会を設置(区) 3/16 ●第3回中央区オリンピック・パラリンピック区民協議会で中央区多言語表記指針を策定(区) 4/22 ●「都市鉱山からつくる!みんなのメダルプロジェクト」に協力開始(区) 5/3 ●総合スポーツセンターで「フラッグツアー歓迎セレモニー」を開催(組、都) 6/25 ●ブラジルオリンピック委員会と大会中の豊海小学校・豊海幼稚園の使用に関する覚書を締結(区)(写真6) 7/23 ●日本橋観光案内所を開設(日本橋地域ルネッサンス100年計画委員会、東京国道事務所) 10/28 ●日本橋中央通り等でオリンピック1000日前イベントを開催(組、都等)(写真7) 12/11~2/22 ●区立小学校が大会マスコット選定投票に参加(222学級参加)(区教育委員会)	1/下 ●選手村建築工事着手(都) 4/22 ●晴海五丁目西地区第一種市街地再開発事業工事情報報告・連絡会(第1回)を開催(都)  9/29 ●都知事に「市場移転及び東京2020大会にかかる要望について」を提出(区) 
平成29年(2017年)	2/9~25 ●平昌2018冬季オリンピック開催 3/1 ●観光ボランティア募集開始(中央区観光協会) 3/9~18 ●平昌2018冬季パラリンピック開催 7/22 ●大会マスコットデビュー。名前を発表「ミライトワ」「ソメイティ」(組)(写真8) 7/24 ●東京スカイツリータウンで東京2020オリンピック2年前イベントを開催(組、都)	 Photo by Tokyo 2020/Ryo ICHIKAWA
	平成30年(2018年)	

	大会運営、気運醸成などの動き	まちづくり、交通対策などの動き
平成31年・令和元年(2019年)	7/31 ●第6回中央区オリンピック・パラリンピック区民協議会にあわせ、パラスポーツ体験会を開催(区) 7/31 ●中央区オリンピック・パラリンピック気運醸成事業補助金の運用開始(区) 8/24 ●江東区MEGA WEBで東京2020パラリンピック2年前イベントを開催(組、都) 9/26~12/21 ●大会ボランティア(8万人)と都市ボランティア(3万人)の募集開始(組、都) 12/21 ●大会ボランティアに204,680人、都市ボランティア36,649人(うち本区推薦180人)が応募(組、都)	10/5 ●都心・臨海地下鉄新線推進大会(1回目)を開催(都心・臨海地下鉄新線推進協議会、区) 10/31 ●晴海五丁目西地区第一種市街地再開発事業区域のタウンネームを「HARUMI FLAG」に決定(特定建築者) 11/8 ●BRTの名称を「東京BRT(英語表記:TOKYO BRT)」に決定(都)
	3/1~5/6 ●「500 Days to Go!」開催(組等) 3/29 ●「東京2020オリンピック・パラリンピックを迎える 中央区のおもてなし」を発行(区) 4/1 ●東京2020組織委員会本部機能を晴海トリトンスクエアへ移転(組) 4/2 ●オーストラリアパラリンピック委員会と晴海中学校の使用に関する覚書を締結(区)(写真9) 4/15 ●東京2020パラリンピック500日前記念イベントを開催(組) 5/9~29 ●東京2020大会観戦チケット抽選申込受付開始(組) 6/1 ●オリンピック聖火リレールート概要公表(組) 6/7 ●組織委員会と3x3 バスケットボール公式練習会場としての総合スポーツセンターの使用に関する覚書を締結(区) 6/17~ ●オリンピック聖火リレー聖火ランナー募集開始(パートナー企業。都は7/1~) 7/13~8/9 ●「1Year to Go!」開催まであと1年!開催(組等) 7/23~8/25 ●日本橋シティドレッシング for TOKYO 2020 開催(三井不動産株、組) 7/23~8/4 ●「超ふつうじゃない2020展」開催(三井不動産株) 7/24 ●東京国際フォーラムで「東京2020オリンピック1年前セレモニー」開催(組)	 4/27 ●HARUMI FLAGのモデルルームがオープン(特定建築者) 7/24 ●東京2020大会における交通計画に伴う4地区合同協議会(第1回)開催(区)


東京2020大会への軌跡

凡例 (組):組織委員会 (都):東京都 (区):中央区

令和元年 (2019年)	大会運営、気運醸成などの動き	まちづくり、交通対策などの動き
7/28	●日本橋で折り鶴ウェーブキックオフイベント開催(区)(写真10)	7/31 ●都知事及び組織委員会会長に「東京2020大会時の交通に関する要望について」を提出(区)
8/2~4	●銀座で折り鶴ウェーブキックオフイベント開催(区)	 10
8/13	●在日オーストラリア大使館が本区をAUS+RALLYフレンド・オブ・オーストラリアとして認定(区)	 11
8/25	●晴海で折り鶴ウェーブキックオフイベント開催(区)	
8/25	●NHKホールで「東京2020パラリンピック1年前カウントダウンセレモニー」を開催(組)	
9/15	●中央通り等でマラソングランドチャンピオンシップ開催(日本陸上競技連盟)(写真11)	
11/1	●IOCがオリンピックマラソン及び競歩の札幌開催を決定	
11/16~30	●日本橋中学校2年生、晴海中学校2年生の2人がブラジリアン・ユース・スクール・ゲームズ2019水泳部門に出場(区)	11/15 ●都心・臨海地下鉄新線推進大会(2回目)を開催(都心・臨海地下鉄新線推進協議会、区)
12/17	●オリンピック聖火リレールート及び聖火ランナーを公表(組、都)	

令和2年 (2020年)	大会運営、気運醸成などの動き	まちづくり、交通対策などの動き
1/15	●国内で初めて新型コロナウイルスの感染を確認	
1/30	●WHOが新型コロナウイルス感染に対し、「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」を宣言	
2/4	●新型コロナウイルス感染症対策本部を設置(組)	
2/28~	●折り鶴ウェーブ袋詰めを実施(区)	
3/12	●ギリシャ・オリンピア市でオリンピック聖火の採火式開催	3/7・28 ●環状第2号線地上部道路が開通(下り線:7日 上り線:28日)(都)
3/20	●宮城県航空自衛隊松島基地で、オリンピック聖火リレー聖火到着式を実施(組)	3/14 ●晴海地区将来ビジョン推進会議が終了(区)
3/23	●IOCが、大会延期の検討を開始することを発表	
3/24	●安倍総理大臣とバッハIOC会長が電話会談し、大会延期等について合意。IOC臨時理事会で承認	
3/24	●3月26日からのオリンピック聖火リレーの延期を公表(組)	
3/30	●IOC、IPC、組織委員会、都、日本国政府が、大会延期日程に合意。IOC臨時理事会にて承認	

令和2年 (2020年)	大会運営、気運醸成などの動き	まちづくり、交通対策などの動き
4/7	●緊急事態宣言を発令(東京は4月7日から5月25日まで適用)(国)	
6/10	●大会延期に伴う「大会の位置づけ」「原則」「ロードマップ」を公表(組)	
7/17	●オリンピックの新たな競技スケジュールを発表(組)	
7/23	●オリンピック1年前としてHPでのアスリートのメッセージ映像の発信や、ポスター展示等を実施(組、都)(写真12)	5/12 ●5月24日予定の東京BRTのプレ運行開始日の延期発表(都)
8/3	●パラリンピックの新たな競技スケジュールを発表(組)	 12 Photo by Tokyo 2020/Shugo TAKEMI
8/24	●パラリンピック1年前としてパラアスリートの動画配信、都立競技施設等のライトアップ等を実施(都)	 13
9/4	●第1回東京2020大会における新型コロナウイルス感染症対策調整会議を開催(国、組、都等)	10/1 ●東京BRTプレ運行開始(都)(写真13)
12/2	●第6回東京2020大会における新型コロナウイルス感染症対策調整会議で中間整理(案)を公表(国、組、都等)	10/12 ●仮設水素ステーションを開設(都)
12/8	●組織委員会と7人制ラグビー公式練習会場としての中央小学校の使用に関する覚書を締結(区)	11/12 ●都心・臨海地下鉄新線推進大会(3回目)を開催(都心・臨海地下鉄新線推進協議会、区)
12/22		●「会場周辺交通対策の更新及び練習会場ルート・代替ルートの公表について」を公表(組、都)

令和3年 (2021年)	大会運営、気運醸成などの動き	まちづくり、交通対策などの動き
1/7	●緊急事態宣言発令を決定(東京は1月8日から期間延長により3月21日まで適用)(国)	
2/3~3/16	●各ステークホルダー向けのプレイブック(初版)を発表(組)(写真14)	
	 14	
3/20	●五者協議(IOC、IPC、国、組、都)で、海外からの観客受け入れの断念を表明	3/1 ●東京BRTプレ運行ルートを大会交通対策期間を除き、環状第2号線を通行するルートに変更(都)

東京2020大会への軌跡

凡例 (組):組織委員会 (都):東京都 (区):中央区

令和3年(2021年)

大会運営、気運醸成などの動き

- 3/25 ●福島県のJヴィレッジでオリンピック聖火リレーがスタート(組)
- 4/1~9/30 ●ほっとプラザはらみの一部を日本選手団ハイパフォーマンス・サポートセンターとして使用(日本スポーツ振興センター)
- 4/23 ●緊急事態宣言発令を決定(東京は4月25日から2回期間延長により6月20日まで適用)(国)
- 4/28 ●第7回東京2020大会における新型コロナウイルス感染症対策調整会議で変異株等に対応する追加的対策案を提示(国等)
- 6/14~9/30 ●臨港消防署月島出張所に窓口業務を集約し、ほっとプラザはらみを一時的な拠点等として活用(臨港消防署)
- 6/17 ●まん延防止等重点措置を決定(東京は6月21日から7月11日まで適用)(国)
- 6/21 ●オリンピックの観客数等の方針(収容定員50%以内で1万人以下など)を発表(IOC、IPC、組、都、国)
- 6/22 ●都主催の全ての東京2020ライブサイト・パブリックビューイングの中止を発表(都)
- 7/6 ●都内区部のオリンピック聖火リレーの実施形態の変更を決定(都聖火リレー実行委員会)
- 7/8 ●緊急事態宣言発令を決定(東京は7月12日から期間延長により9月30日まで適用)(国)
- 7/8 ●IOC、IPC、組織委員会、都、国の5者が、8日の緊急事態宣言発出決定を受け、1都3県の無観客を決定
- 7/19~28 ●総合スポーツセンターに3x3 バスケットボール公式練習会場を開設(組)
- 7/20 ●浜町公園でオリンピック聖火リレー点火セレモニーを開催(組・都聖火リレー実行委員会)(写真14)

まちづくり、交通対策などの動き

- 6/1~9/30 ●選手村運営エリア内の一部道路の交通規制開始(組)
- 6/1~9/30 ●都営バスの経路を一部変更(都)
- 6/8~30 ●築地デポの一部を新型コロナウイルスワクチン接種会場として活用(都)
- 6/23~9/12 ●環状第2号線の交通規制開始(午前中の豊洲~晴海間は豊洲市場関係車両が通行)(組、都)
- 7/3 ●選手村の立ち入り制限開始(組)
- 7/13 ●オリンピック選手村が開村(組)(写真15)
- 7/13 ●環状第2号線の交通規制追加(組、都)
- 7/15 ●東京2020大会開催に伴う交通対策等のおしらせチラシの発行(区)
- 7/19 ●交通対策実施期間開始(7月19日~9月5日 ※8月10日~8月23日は除く)(組、都)



15



16

大会運営、気運醸成などの動き

- 7/20~9/5 ●パラリンピックギャラリー銀座を開設(都)
- 7/21~31 ●中央小学校プールに7人制ラグビー公式練習会場を開設(組)
- 7/23~8/8 ●豊海小学校・豊海幼稚園にブラジルオリンピック委員会拠点を開設
- 7/23 ●オリンピック開催(組)(写真17)
- 8/8 ●オリンピックが閉会(組)
- 8/14~9/8 ●晴海中学校にオーストラリアパラリンピック委員会拠点を開設
- 8/16 ●パラリンピックの観客数の方針(無観客、沿道観戦の自粛等)を合意(IOC、国、組、都)
- 8/20 ●銀座のガス灯でパラリンピック聖火(中央区の火)を採火(都聖火リレー実行委員会)
- 8/20 ●都庁都民広場でパラリンピック聖火リレー都内集火式を開催(都聖火リレー実行委員会)
- 8/24 ●代々木公園で、3区(中央、港、渋谷)のパラリンピック聖火リレー点火セレモニーを実施(組、都聖火リレー実行委員会)(写真18)
- 8/24 ●パラリンピック開催(組)
- 8/27~30 ●パラリンピック競技表彰式に、ギフトプレゼンターとして区長・議長が出席(組)
- 9/5 ●パラリンピックマラソン開催(組)
- 9/5 ●パラリンピックが閉会(組)(写真19)



開会式が行われたオリンピックスタジアム
Photo by Tokyo 2020/Uta MUKUO

17



18

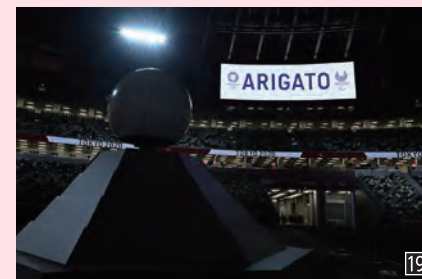


Photo by Tokyo 2020/Kenta Harada

19

まちづくり、交通対策などの動き

- 7/21 ●組織委員会事務総長宛てに「安全な東京2020大会の実現に向けた要望について」を提出(区)
- 8/11 ●オリンピック選手村が閉村(組)
- 8/17 ●パラリンピック選手村が開村(組)
- 9/8 ●パラリンピック選手村が閉村(組)
- 9/30 ●選手村運営エリア内の交通規制全て解除(組)